

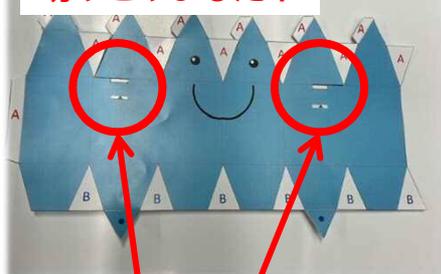
不器用な担当者がウォッピーを作ってみました！

1. ボディを実線できりとり、点線でおり目をつけます。（▲マークの手を入れる**ぶぶん**もわすれずにきりとりましょう。）



まずははさみをつかいます

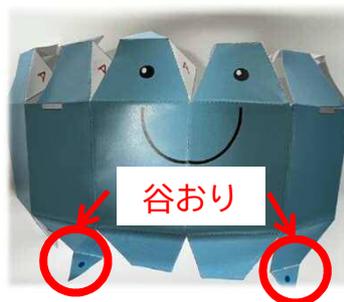
切り取りました！



忘れやすい▲マークはここです。
細かいですが、サイドからはさみを入れてください。

【はじめる前に】

はさみとのりをじゅんびしましょう



点線部分はしっかりおり目をつけます。

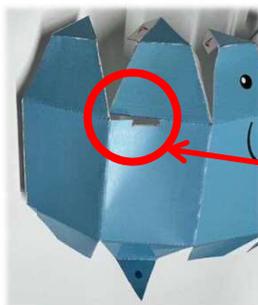
ほぼすべて「山おり」ですが、足をつける●マークのところだけ「谷おり」です。

2. 手を実線できりとり、点線でおり目をつけます。

きっただけ



おりました



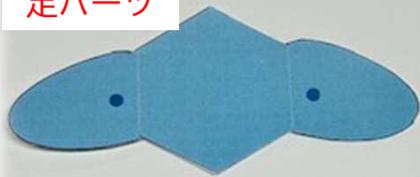
手はいるところはここです。

パーツが小さいのでむずかしいのですが、がんばりましょう。
手のつけねは、「山おり」・「谷おり」どちらでもだいじょうぶです。

つけねを「谷おり」したパーツ

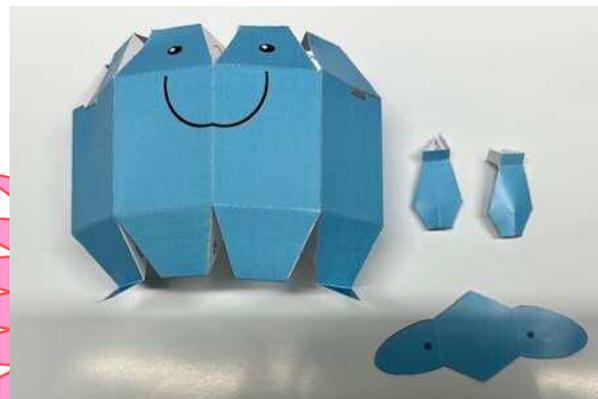
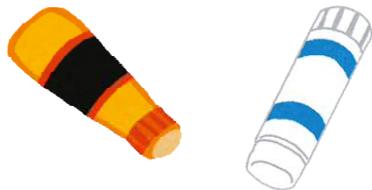
3. 足を実線できりとります。

足パーツ



ぜんぶのパーツをきりとって、おり目をつけたものがこちら。

ここからはのりをつかいます

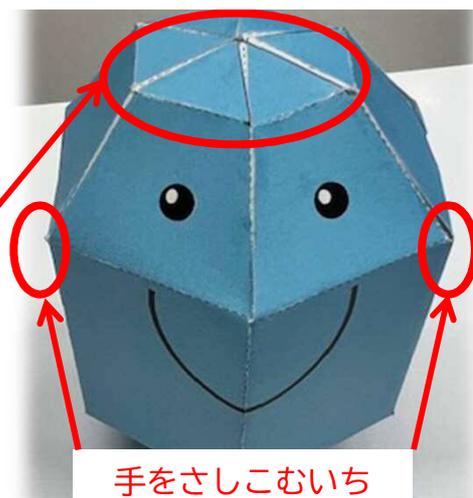
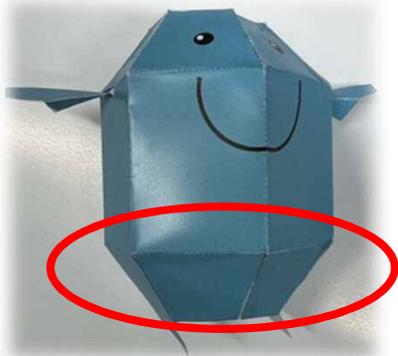


4. **Aのマーク**をはりあわせませす。手をボディのきりこみに入れ、うちがわで白いぶぶんをひろげます。

(手がぶらぶらするばあいは、うちがわにセロハンテープではりつけてください。)

はりつけがピッタリではないですが・・・

のりは**たっぷり**つけてください！
あたまの上はとくに**しっかり**のりをつけると、はりあわせやすいです。



手をさしこむいち

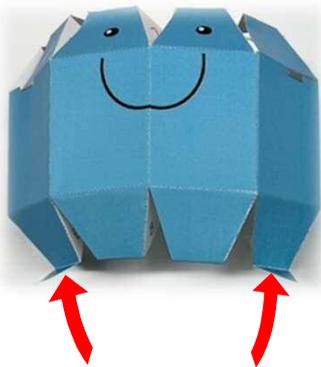
手のパーツをさしこんで、下からうちがわにゆびを入れてかたちをととのえます。

5. **Bのマーク**をはりあわせませす。

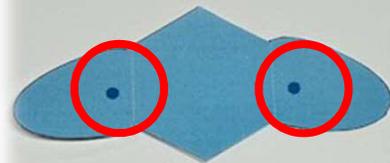
こちら**も**、のりは**しっかりたっぷり**つけてください！

さしこんだ手のパーツは、あなの大きさに合わせて丸みをもたせるときれいにおさまります。

6. ボディ●マークのうらめんにのりをつけ、足のおなじマークのところとはりあわせたらできあがり！



このうらがわにのりをたっぷりつけて、



おなじ●マークのところにはりつけます。

★完成です★



ちょっと不格好ですが・・・

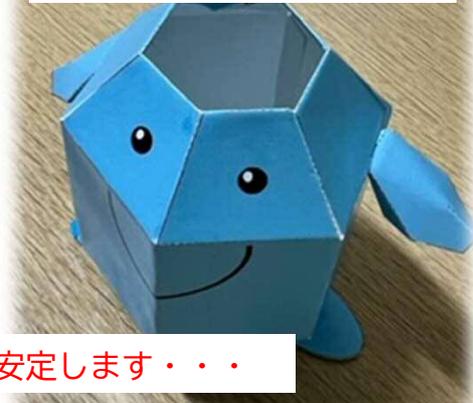
【ポイント】

- ・ 4. でしっかりくっついたあとに、うちがわにゆびを入れてあたまのかたちをととのえると、すこしだけ丸みがあります。
- ・ 6. の足をはりつける前に、しっかりのりをかかわすとはりつけやすいです。



3本くらいペンをいれると安定します・・・

カラのままだと不安定です



あたまをはるのがむずかしいときは、うちがわにおりこんでペン立てとして使うこともできます！（足もとは安定しないので、台座にはりつけてご利用ください。）